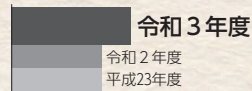
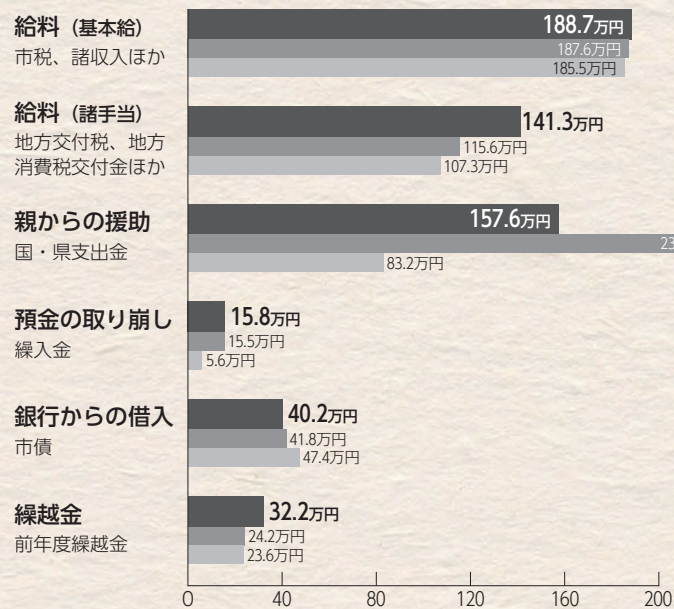


西条さん家の家計簿

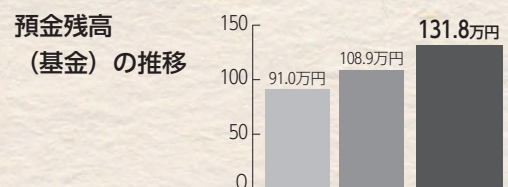
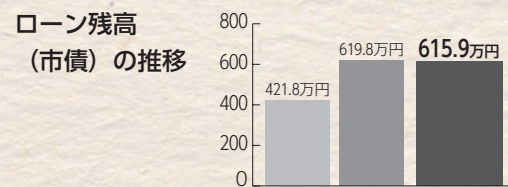
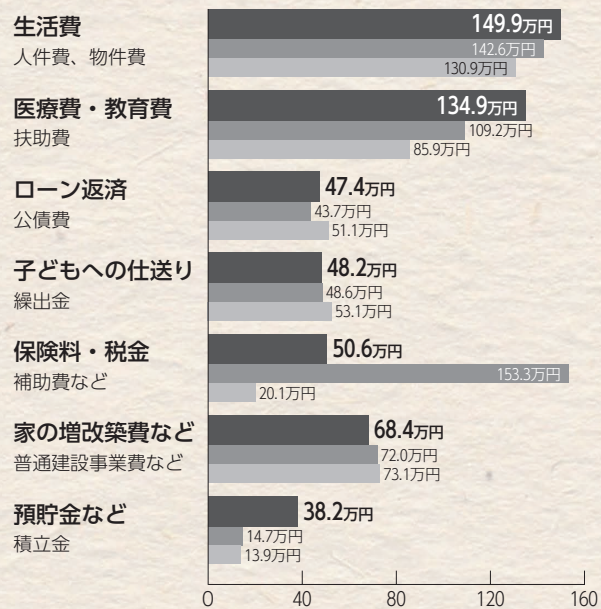
令和3年度の決算と市債・基金残高の一般会計分を1万分の1にして家計簿に例え、令和2年度・平成23年度と比較してみました。



収入 R3 575.8万円
R2...616.3万円 H23...452.6万円



支出 R3 537.6万円
R2...584.1万円 H23...428.1万円



※収入合計575.8万円から支出合計537.6万円を差し引いた金額38.2万円は翌年度の家計に持ち越します

令和2年との比較で家計簿を読み解く

収入は、給料（市税、地方交付税など）が増えましたが、親からの援助（国庫支出金）が減ったことから、年収が約41万円減少。支出は、医療費・教育費（扶助費）やローンの返済額（公債費）が増えましたが、保険料・税金など（補助費）が減ったことから、約47万円減少。令和2年度は臨時的な保険料・税金など（国の特別定額給付金支給事業の実施）に対して親からの援助（国庫支出金）を多く受けました。令和3年度も新型コロナウイルス感染症対策としてワクチン接種や子育て世帯・住民税非課税世帯への給付金支給などを実施してきましたが、令和2年度と比較すると収入・支出ともに減少となりました。預金残高（基金）は増えているものの、長期化する新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰などへの対策、今後増えることが想定される医療費・教育費（扶助費）やローンの返済（公債費）を考えると、健全な家計の維持のためにも、収入に見あった支出の計画を立てる必要があります。

住民基本台帳登録数106,265人（令和4年3月31日現在）

市民1人のお金の使われ方



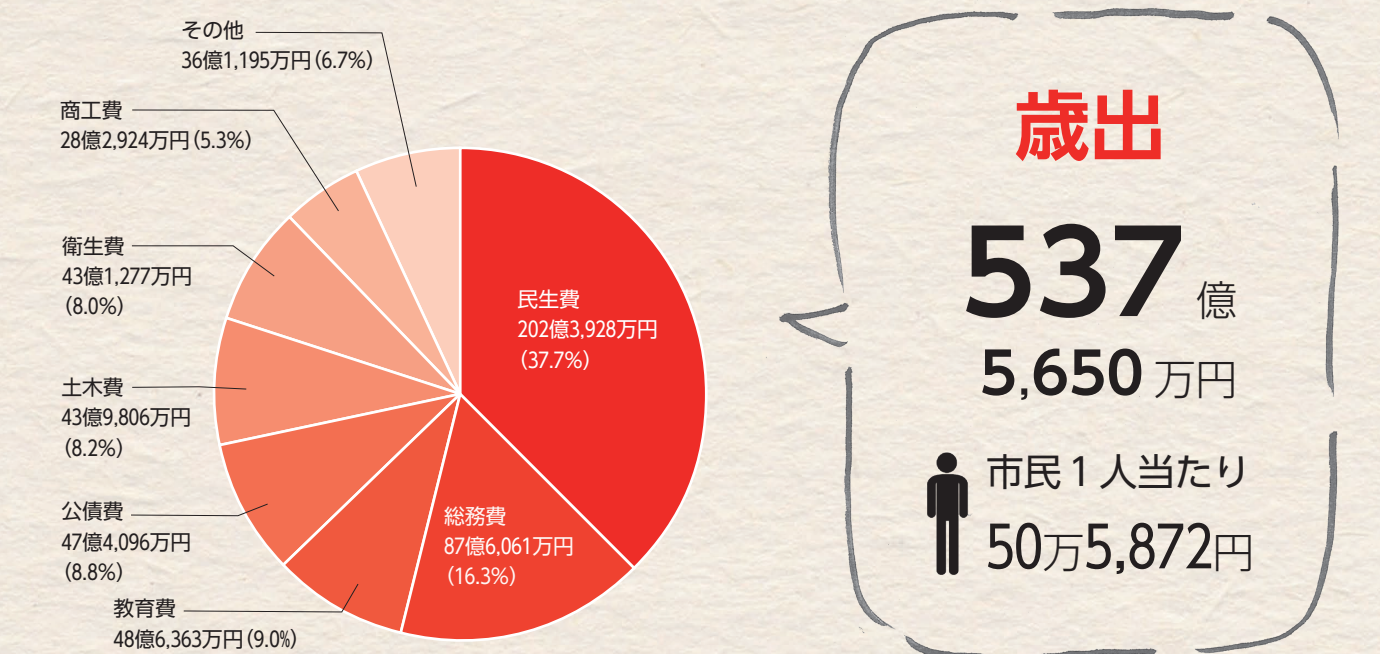
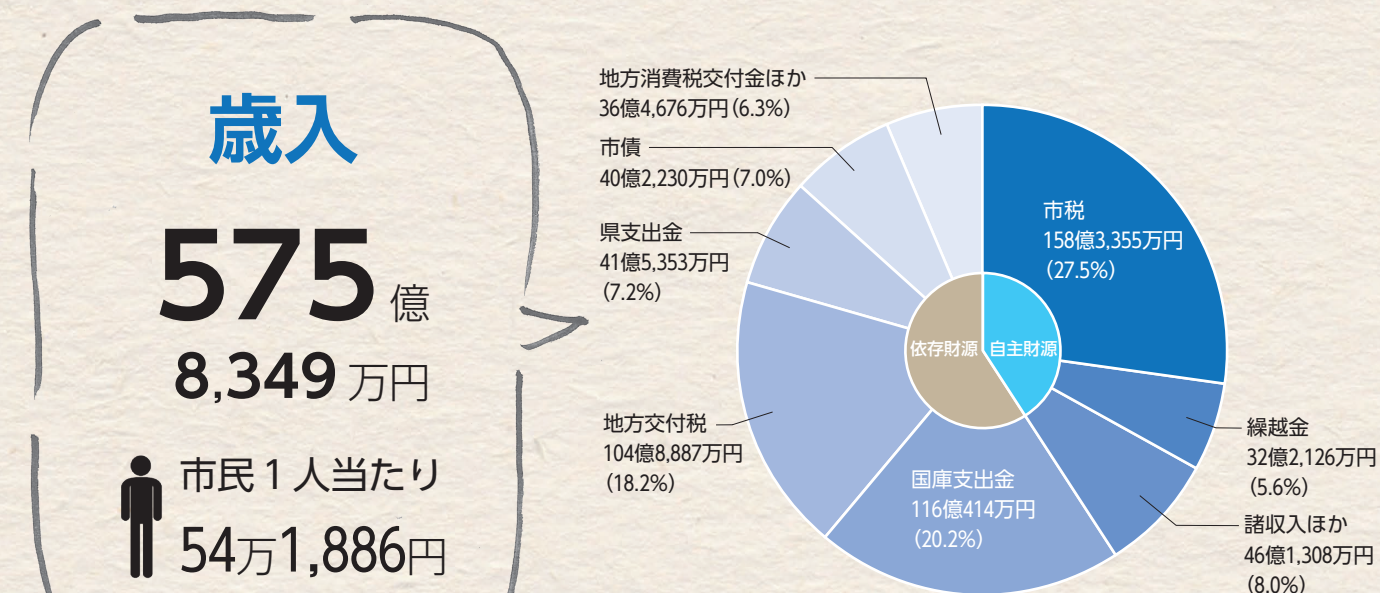
令和3年度 西条市の

決算

令和3年度の決算がまとまりました。

昨年度の決算を振り返り、市民の皆さんに納めていただいた税金がどのように使われたのかお伝えします。

問合せ 市庁舎本館3階 財政課 Tel.0897-52-1272



特別会計、企業会計、市の財産・借金などの詳細

●特別会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険	120億4,706万円	119億5,963万円	8,743万円
介護保険	118億3,451万円	114億9,796万円	3億3,655万円
港湾上屋事業	572万円	565万円	7万円
ひうち地域振興整備事業	1億1,316万円	1億1,316万円	0 円
土地開発事業	7万円	7万円	0 円
小松地域交流事業	4,344万円	4,344万円	0 円
本谷温泉事業	5,824万円	5,824万円	0 円
畑地かん水事業	2,254万円	958万円	1,296万円
庄内財産区	63万円	63万円	0 円
壬生川財産区	424万円	327万円	97万円
後期高齢者医療保険	15億8,680万円	15億5,396万円	3,284万円
合計	257億1,641万円	252億4,559万円	4億7,082万円

●市の財産

土地	2,913万5,497㎡
建物	52万7,306㎡
基金	164億4,864万円
有価証券	2,424万円
出資金	2億1,962万円
債権	14億8,339万円

●市の借金（市債現在高）

一般会計	615億9,051万円
特別会計 計	2億4,149万円
合計	618億3,200万円
市民1人当たりの借金	58万1,866円

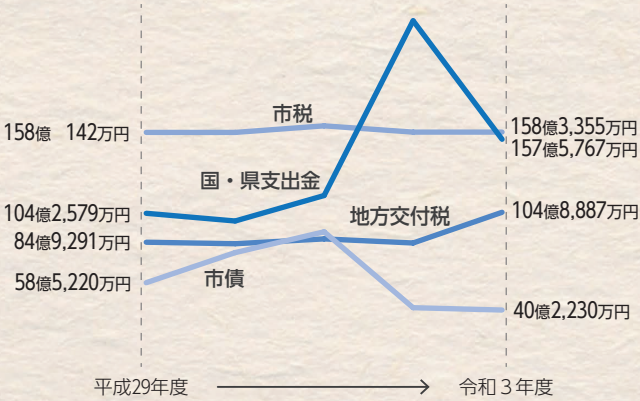
※企業会計を除く

●企業会計の決算状況

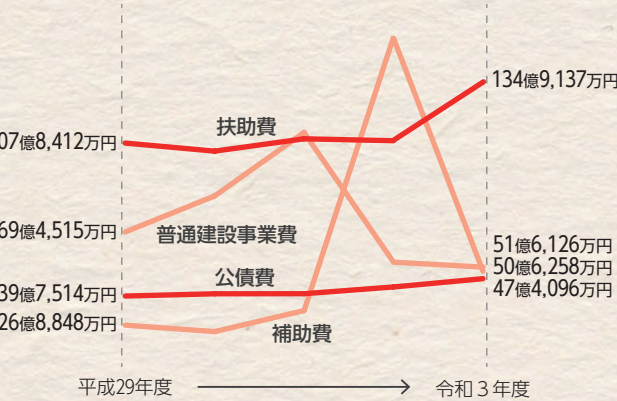
区分	収益	費用	当期純利益・損失	企業債現在高
水道事業会計	10億 581万円	9億 142万円	1億 439万円	53億6,859万円
公共下水道事業会計	24億8,800万円	25億1,692万円	△2,892万円	188億7,733万円
病院事業会計	1億5,261万円	1億8,914万円	△3,653万円	6億7,966万円

5年間の主な歳出・歳入の推移

歳入



歳出



持続可能な財政
基盤の確立へ

令和3年度と令和2年度を比較すると、歳入・歳出ともに決算額が減少となりました。これは、令和3年度も「子育て世帯臨時特別給付金支給事業」や「頑張ろう！事業者応援給付金支給事業」などの新型コロナウイルス感染症対策事業を実施してきましたが、令和2年度に一人10万円を支給した「特別定額給付金支給事業」があり、歳入では国・県支出金、歳出では補助費が大きく減少したためです。

今後は、長期化する新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰などへの対策、増加が見込まれる社会保障経費や公債費への備えが必要となります。そのため、高いコスト意識や創意工夫を凝らした事業を実施するなど、歳入水準に見合った歳出構造への転換に向けた「歳出改革」を推進することで持続可能な財政基盤の確立を目指します。

令和3年度に実施した主な事業

※新型コロナウイルス感染症対策事業

総務費

SAJO BASE（ひと・夢・未来創造拠点複合施設）

- （仮称）ひと・夢・未来創造拠点複合施設整備事業
こどもの国を改修し、市民交流の拠点および新たなチャレンジを支援する複合施設を整備 3億6,424万円
- SDGs未来都市推進事業 4,589万円

民生費

建て替えた西条児童館

- 西条児童館整備事業 1億7,155万円
児童の健全な遊び場の確保と健康増進のために整備
- 住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業※ 6億7,867万円

衛生費

新型コロナウイルスワクチン接種

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業※
ワクチン接種体制の強化・維持 10億6,243万円
- 道前クリーンセンター整備事業 2億5,840万円
施設の安定的な稼働運営を行うため基幹的設備の改良

商工費

事業者を支援

- 頑張ろう！事業者応援給付金支給事業※ 3億4,793万円
- 新型コロナウイルス対策営業時間短縮要請協力金支給事業※ 4億2,623万円

土木費

整備された喜多川朔日市線

- 喜多川朔日市線改良事業 1億5,036万円
喜多川通りから御殿前通りまでの区間整備
- 東部公園整備事業 5,158万円
東部地域の憩いの場として整備

教育費

整備中の丹原小学校

- 電子図書館導入事業※ 1,993万円
電子書籍を閲覧・貸出できるシステムを導入
- 小学校施設長寿命化事業 11億1,570万円
施設の長寿命化を図るための改修